

科目名	児童家庭福祉						
授業形態	履修形態	単位数			年次	開講期	
講義	必修	2			1	前期	
担当者名	坂井 芳浩	関連する資格	保育士資格 必修 社会福祉主事任用資格 必修				
授業概要 子ども家庭福祉の理念、歴史的展開や最近の動向、あるいは子ども家庭福祉の法体系や実施体制等の理解を深めていくとともに、担当教員の実体験や事例を考察することにより、現実的な子ども家庭福祉観を温め、保育士としての専門性を高める。							
到達目標 ・テキストを使いながら、子どもや家庭の福祉領域に係る知識を習得する。 ・児童福祉法や子どもの権利条約等の資料を通して、理論や専門用語を学ぶ。 ・関連する DVD や新聞記事を見ながら、養護と教育の一体的な感性を養う。					成績評価方法 定期試験、授業中のレポート、受講態度及び意欲（出席カードによる意見・質問含む）による総合評価		
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他 (出席カード)	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○	○	30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要					アクティブラーニング		
1) 特別講義 DVD から見る「子ども家庭福祉 Part 1」 ～児童養護施設のドキュメント映像から学ぶ①					グループワーク		
2) 特別講義 DVD から深める「子ども家庭福祉 Part 2」 ～児童養護施設のドキュメント映像から学ぶ②					グループワーク 小レポート		
3) 子どもと家庭から福祉を考える（1） ～子どもの諸特性、家庭について考える							
4) 子どもと家庭から福祉を考える（2） ～子どもと家庭の福祉ニーズを考える							

5) 現代の子どもがおかれている状況を把握する (1) ～社会的背景、家庭の変化について理解する	
6) 現代の子どもがおかれている状況を把握する (2) ～地域社会の変化、少子高齢化から考える	
7) 児童福祉の理念を理解する (1) ～児童福祉の基本理念及び発展を学ぶ	
8) 児童福祉の理念を理解する (2) ～子どもと家庭の権利保障を理解する	
9) 特別講義 新聞記事から見る「子ども家庭福祉 Part 3」 ～「こうのとりのゆりかご」から学ぶ	小レポート
10) 現代の子どもと家庭の福祉の制度を理解する (1) ～子ども家庭福祉の法体系を理解する	
11) 現代の子どもと家庭の福祉の制度を理解する (2) ～子ども家庭福祉の実施体系を理解する	
12) 児童福祉施設について理解する (1) ～通所型施設及び利用施設について理解する	
13) 児童福祉施設について理解する (2) ～入所型施設について理解する	
14) 子どもと家庭の福祉の現状と諸施策を理解する ～保育の現状及び放課後健全育成事業について理解する	
15) 特別講義 データから見る「子ども家庭福祉 Part 4」 ～児童虐待と向き合う	グループワーク
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画に沿って、事前にテキストの該当単元を熟読して授業に臨んでください。 ・ 2)、15)のグループワークのテーマや課題に沿って、事前に各人の考えや意見をまとめて授業に臨んでください。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「一実践から学ぶー子どもと家庭の福祉」 堤 荘祐 編著 (保育出版社) その他「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」	社会福祉
備考	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定のテキストは事前に購入してください。 ・ 積極的な発表や質問に心掛けてください (出席カードを通じての意見・質問を含む)。 ・ 他の学生に迷惑を掛ける行為をする者は退席願います (私語等も含む)。 <p>【オフィスアワー】 坂井 芳浩 genkijuku2002@ezweb.ne.jp</p>	